

## 宝島社「住みたい田舎ベストランキング」2部門受賞について

企画政策課

### 1 「住みたい田舎ベストランキング」について

#### (1) 概要

宝島社が発行する「田舎暮らしの本」掲載のランキング。

「魅力的な移住先」を探るべく、全国の市町村を対象に、編集部独自のアンケートを実施。人口規模、世代、エリアなどの切り口でランキングを集計し、多くの市町村の魅力を伝えるものです。

毎年、移住先を検討するうえでのトリガーとして注目されると共に、ネット、テレビ、新聞など各種媒体でも紹介され、大きな反響があります。

#### (2) 受賞内容について

宝島社「住みたい田舎ベストランキング」2022年2月号(2022年1月4日発売)で発表されたランキング。(全国751市町村が参加)

#### 人口別グループ

「人口1万人以上3万人未満のまち」の部門ランキングにて

《若者世代・単身者が住みたいまち》 **全国第2位**

《子育て世代が住みたいまち》 **全国第2位**

《シニア世代が住みたいまち》 **全国第8位**

#### 人口1万人以上3万人未満のまち

	若者世代・単身者が住みたいまち	子育て世代が住みたいまち
第1位	大分県豊後高田市	大分県豊後高田市
第2位	鳥取県琴浦町	鳥取県琴浦町
第3位	長野県飯山市	大分県国東市



【宝島社2022年2月号表紙】

また、市町村の規模に関係なくエリア毎のランキングも発表。

中国エリア(67市町村)の中でも上位にランクイン。(県内では1位)

《若者世代・単身者が住みたいまち》中国エリア第2位

《子育て世代が住みたいまち》中国エリア第2位

#### (3) 評価について

自然、商工業、農業、漁業が多岐に渡って盛んなところを大きく評価されました。

また、住民サークル「琴浦ポレポレな暮らし」をはじめ、行政だけでなく町民も一緒に移住者を支援しているところも琴浦町の特色です。

あわせて、学校やこども園のICT整備をはじめ、学校図書館や保育士・学校支援員の配置など子育て・教育の環境づくり、奨学金や移住者向けの各種補助金による支援制度などを地道に行ってきたことも評価されました。



## 地域おこし協力隊活動報告(TCC 特集番組)の放映について

企画政策課

### 1 目的

令和3年度着任の地域おこし協力隊の活動について、鳥取中央有線放送(TCC)で特集番組を放映します。

コロナ禍により、対面で集客せず多くの方に見てもらえるよう、特集番組の作成、放映というかたちで報告を行います。

### 2 報告内容

- ・令和3年度着任の協力隊(3名)

石黒明日香(企画政策課)

正田好実(企画政策課)

前田桃子(商工観光課)

- ・プロフィール、着任のきっかけ、これまでの活動の様子、今後の抱負などを報告します。

### 3 放映日

令和4年2月2日(水) 18:00~

TCC 11チャンネルにて放映

# 過疎地域の追加指定について

企画政策課

## 1 趣旨

令和2年国勢調査の結果を受けて過疎地域の要件が改正され、新たに琴浦町全域が追加指定される予定です。現在策定している琴浦町過疎地域持続的発展計画については、令和4年度に見直しを行い、改定します。

## 2 追加指定日

令和4年4月1日(予定)

## 3 過疎地域の要件

令和2年国勢調査結果を反映した過疎地域の要件は次のとおり。

### 令和2年国勢調査結果を反映した過疎地域の要件

人口要件(長期①、長期②、中期のいずれか)、かつ、財政力要件を満たすこと

種類	指標	基準値	追加公示 (R2国勢調査)	【参考】R3.4公示 (H27国勢調査)
人口要件(長期①) ・25年間の人口増加率10%以上の団体を除く	人口減少率 (長期:40年間)	人口減少団体平均	30%以上減少 (S55→R2)	28%以上減少 (S50→H27)
		人口減少団体平均から 5ポイント控除した率	(財政力指数が0.40以下の場合) 25%以上減少 (S55→R2)	(財政力指数が0.40以下の場合) 23%以上減少 (S50→H27)
人口要件(長期②) ・高齢者比率又は若年者比率を満たす場合、人口減少率の基準値を緩和 ・25年間の人口増加率10%以上の団体を除く	高齢者比率 (65歳以上)	人口減少団体平均	38%以上	35%以上
	若年者比率 (15歳以上 30歳未満)	人口減少団体平均	11%以下	11%以下
	人口減少率 (長期:40年間)	人口減少団体平均から 5ポイント控除した率	25%以上減少 (S55→R2)	23%以上減少 (S50→H27)
人口要件(中期)	人口減少率 (中期:25年間)	人口減少団体平均	23%以上減少 (H7→R2)	21%以上減少 (H2→H27)
財政力要件 ・公営競技収益40億円超の団体を除く	財政力指数 (直近3力年平均)	全市町村平均	0.51以下 (H30→R2)	0.51以下 (H29→R元)

※ 現行の過疎法制定前(平成11年4月以降)の市町村合併前の旧市町村の区域単位で上記の人口要件のいずれかを満たし、かつ、現在の市町村が財政力要件(財政力指数が全市平均(0.64)以下)を満たす場合には、その旧市町村の区域が過疎地域となる(一部過疎)。

※ 旧過疎法で全部過疎又はみなし過疎であった市町村について、一部過疎区域の人口が1/3以上又は面積が1/2以上を占める等の要件を満たし、かつ財政力指数が0.51以下の場合には、市町村全体が過疎地域とみなされた(みなし過疎)。なお、令和2年国勢調査結果を踏まえた追加公示においては、みなし過疎の追加は行わない。

#### 【琴浦町全域が該当】

人口要件(長期) S55 R2 22,150人 16,365人(26.1%減少)

財政力要件 0.31

その他県内の追加指定：八頭町(全域)、鳥取市(旧福部村)、湯梨浜町(旧東郷町)

## 4 今後のスケジュール(案)

- ・4月1日 琴浦町全域が追加指定(予定)
- ・6月又は9月議会で計画変更予定

タクシーが変わります!!

2022年

2月1日始動!!

電話番号も変わります

イチロー サブロー

0858 27-1636

ことうらバス同様タクシーもことうら交通が運行致します  
2022年1月24日(月)より事前予約承ります

↓電話の近くに貼って  
ご使用ください



タクシー  
バス

ことうら交通

イチロー サブロー

TEL (0858) 27-1636

琴浦町中尾 487-1 受付 AM6:30 ▶ PM8:00

## みんなで考える家庭ごみ減量会議報告会の開催について

企画政策課

### 1 みんなで考える家庭ごみ減量会議(琴浦自分ごと化会議)提言書報告会の開催

#### (1) 概要

- ・ 9月より毎月1回、無作為抽出により選ばれた方のうち希望された方を委員として、「家庭ごみの減量」について議論してきました。その内容をまとめた「提言書」を、町および町民に向けて報告されます。
- ・ 構想日本から3名(ファシリテーター・運営補助・代表)の参加予定。

	報告会(第5回)
日 程	令和4年2月26日(土)(1/29を延期) 13:30~16:00
場 所	まなびタウンとうはく4階 多目的ホール
参加者	委員19名、スタッフ:6名 傍聴可能(10~50人程度を想定)
テーマ	家庭ごみの減量についての提言書の報告
内容	・ 町長へ提言書の手交 ・ 提言書を受け、町としての今後の取り組み(方向性など) ・ 今後の展開(町民みんなで減量に取り組んでいく)

#### (2) 今後の取り組み

- ・ 提言の内容を元に、来年度以降の町施策等に反映。
- ・ 委員の感想として、今後も機会があればごみ問題に関わっていきたいという意見が多くあったため、来年度以降も継続してごみの減量について考え、実践していく"場"(ワークショップや町民に向けた啓発・広報など、町民目線での発信等)を検討します。